



画 佐藤和喜

墓地は、線香生花をお世話するものは常駐していません。正月に墓参される方は、線香花などご持参ください。

もくぎよ 木魚

お経をよむときにポクポクとやるのが、木魚。木に魚と書くから、魚の模様でも刻まれているかという、違うんだなあー。毎日ポクポクとやりながら、改めて知った恥ずかしい話です。(住職記)

索がメチャクチャ簡単になりました。

たとえば、「木魚」を検索すると、何万もの漢字の中から、十四の経典に二十一の記述がある、と瞬時に探し出してくれます。

検索結果をながめると、インド生まれの経典には木魚の記述はなく、八世紀以降の中国の禅宗関係の語録に記されている言葉らしい。木魚は中国生まれで、禅宗で育った楽器のようです。

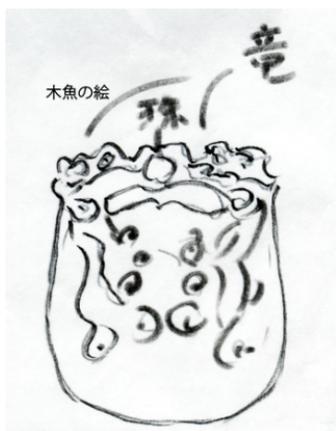
中国といえば、代表的な魚は鯉(こい)。ゆるやかな流れでは悠々と泳ぎながらも、流れが急になって滝があっても、いきおいよくさ

りに向かって「行かねばならぬ」とポクポクするわけです。

あるいは、亡き人のために経をよむときも、「仏の弟子としての戒名をもらったのだから、鯉が偉大な竜になるように、共に仏になりましょうぞ」との思いでポクポクとたく僕。

さて、新しい年の干支は竜。竜から津波を連想する人もいるため、少々遠慮気味らしい。そんなことはない。困難を乗り越えるシンボルだとすればこれほど相応しい干支はありません。

ご案内した新年の祈禱法要では、木魚はつかいません。太鼓を使います。木魚はあいているので、逆さまにして、竜の姿をお見せできます。おまちしています。(住職/博芳記)



キリトリせん

ご出欠の確認のため、当日この手紙をご持参ください。

年賀受と 新年の祈禱法要

松岩寺本堂にて
元旦・二日・三日/午前10時~10時半

正月三が日の午前10時から新年の祈禱法要をします。ご都合のよい日にお越しください。年賀も上記の法要の時間にお越しください。法要への出欠席の連絡は不要です。

墓地は、線香生花をお世話するものは常駐していません。正月に墓参される方は、線香花などご持参ください。

松岩寺

360-0815

埼玉県熊谷市本石1-102

TEL 048-522-1812 FAX 522-9189

chief@shoganji.or.jp

つまり、木魚の音は、声を合わせるためだけではなくて、仏の弟子として、今はしがいないこの身だけれども、鯉が上流を目指すように、悟